

平成28年度 島田幼稚園 自己評価報告書

1. 学校の教育目標

【建学の精神】豊かな知性と誠実な心を持ち社会に貢献できる人材を育成する

【教育指針】愛情と誠実

【教育理念】園生活の中で目的を持って遊びや活動をしながら、思いやりや生きる力を身につける

【教育目標】

3歳：・基本的な生活習慣を知り、身の回りのことを自分でしようとする。

・自分の要求や感じたことを自分なりに表現する。

・歌や踊りを通して保育者や友達と親しむ。

4歳：・友達や保育者との関わりを深めながら、様々な活動やあそびを通して共通の目的を持ち、楽しく生活する。

5歳：・まわりの人や生き物との触れ合いを通して、相手の気持ちを考え、行動できるようになる。

・自主性・協調性を身につける中で、挑戦する気持ちや粘り強く遂げる力を養う。

・就学に向けて生活活動に取り組む。

【教育課程構成のための構造化】

・健康の習慣や態度を身につける(薄着・はだし保育)

・喜んで伸び伸びと表現し、感性を身につける(身体表現・造形表現・楽器表現)

・社会生活の習慣や態度に気づき、コミュニケーションが円滑にできる(友だち作り・基本的生活習慣)

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

・幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高める。

・園を取り巻く環境の変化に対応し、学園の中長期計画の前進と幼稚園が今後担う役割について明確にしていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
●教育課程・指導	B	・建学の精神、教育課程(【教育指針】、【教育理念】、【教育目標】)に基づき、年間計画・月案・週案・日案を作成し、園児が段階的に成長できるよう努めている。 また、各計画の内容を反映し、本園の特色でもある次の教育を実施している。 ①めざましあそび(教材)：自分と物、物と物の関係を、遊びを通して、体験的に覚えるよう実施 ②保育内水泳教室(年長児)：スイミングスクールの専任コーチによる指導を実施 ③保育内ふれあい英会話(全園児)：外国人の先生と、歌を歌ったり、ゲームを楽しみながら、英会話の指導の実施 ④保育内体育(全園児)：クラスごとに幼児専門の指導員が体育の指導を実施 ⑤はだしうすぎ(全園児)：裸足、薄着で健康な体づくりをし、のびのび園生活を実施 ・行事では、日本の伝統、慣習を四季で感じられるよう「七夕祭り」、「餅つき」、「豆まき」等を取り入れている。
●保健管理	B	・歯科健診、内科健診を5月・6月で実施している。その他に隔月で身体測定を実施し、園児の健康管理をするとともに成長管理も行っている。 ・感染症の感染を防ぐため、マニュアルの作成と年度初めに保護者へ周知をし、マニュアルに沿った登園の指導を行っている。 ・学校保健安全法に基づく学校安全計画を整備している。 ・平成28年度第2回学校関係者評価における衛生面での要望①「保育室内手洗い場のマット改善」、②「保育室前たらい水の改善」の対応を行った。

平成28年度 島田幼稚園 自己評価報告書

<p>●安全管理</p>	<p>B</p>	<p>・消防計画に基づき、消防設備点検の実施(2回/年)、幼稚園という特性を踏まえた防災訓練を4回/年実施している。 また、防災用品についても、①AED ②非常食 ③非常水を備えている。 ・防犯対策として、二つある門をセキュリティ錠にし、暗唱番号を定期的に変更することにより、外部からの不審者の立ち入りに備えている。 ・大規模地震対策マニュアルを整備し公表している。 ・学校保健安全法に基づく危機管理マニュアルを整備している。 ・消火器の落下防止ストッパーを設置した。</p>				
<p>●特別支援教育</p>	<p>B</p>	<p>・特別支援が必要なクラスの担任が、積極的に教育研究協議会に参加し、情報収集や研究を行い、対応を行っている。</p>				
<p>●組織運営</p>	<p>B</p>	<p>・園の運営を決定する機関として園長を中心とする管理職で運営委員会を設置し、必要に応じて実施をしている。運営委員会での決定事項は、毎日行われる終礼において、全教職員に周知がされている。 ・予算については、理事会で決定された事業計画大綱及び予算編成方針に基づき、園内において予算申請書を作成し、管理者において精査の上、法人事務局に提出する。その後、法人事務局との折衝を行い、予算原案を作成し、3月末に開催される評議員会及び理事会の議を経て決定する。執行については、経理責任者が、学園規程に基づき、予算の範囲内で適切な処理を行っている。 ・会計監査は、公認会計士(実地監査1回、書類監査1回)及び監事監査を実施している。 ・法人において「私立学校法」に定められた財務書類を学園規程に基づき、保護者等、その他利害関係者の請求に応じ、閲覧を供している。また、法人広報誌「Commu」に掲載するとともに、法人のホームページ上でも公開をしている。 ・教職員の労働時間の改善について、以下の内容を実施している。 ①退出目標時間の設定 ②業務改善案策定、一部実行 ③園支援システムを導入と業務のシステム化</p>				
<p>●研修(資質向上の取り組み)</p>	<p>B</p>	<p>・新任者の指導は綿密な計画をもとに個々の個性に合わせた育成を行い、管理職がバックアップをし、OJT教育と補助教員による細やかなサポートを行っている。 ・新任者は日案を作成し、管理者のチェックと指導を受け、毎日の準備と改善を徹底的に行っている。 ・下表の研修に参加し資質向上に取り組んでいる。</p> <table border="1" data-bbox="502 1388 1481 1814"> <thead> <tr> <th>学園・園内研修</th> <th>園外研修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 【学園】 新任研修:2回 2・3年目研修:1回 教員研修:1回 【園内】 教員研修 年少:2回、年中:1回 </td> <td> 新任教員3名:幼稚園新規採用教員研修:9回 教員2名:幼児教育(相談)基礎講座:5回 教員1名:幼児教育(相談)中級講座B:5回 教員1名:2年目研修:3回 教員4名:ひかりのくに幼児教育夏季大学研修:1回 教員3名:「幼児のことは遊び会」研修:1回 </td> </tr> </tbody> </table>	学園・園内研修	園外研修	【学園】 新任研修:2回 2・3年目研修:1回 教員研修:1回 【園内】 教員研修 年少:2回、年中:1回	新任教員3名:幼稚園新規採用教員研修:9回 教員2名:幼児教育(相談)基礎講座:5回 教員1名:幼児教育(相談)中級講座B:5回 教員1名:2年目研修:3回 教員4名:ひかりのくに幼児教育夏季大学研修:1回 教員3名:「幼児のことは遊び会」研修:1回
学園・園内研修	園外研修					
【学園】 新任研修:2回 2・3年目研修:1回 教員研修:1回 【園内】 教員研修 年少:2回、年中:1回	新任教員3名:幼稚園新規採用教員研修:9回 教員2名:幼児教育(相談)基礎講座:5回 教員1名:幼児教育(相談)中級講座B:5回 教員1名:2年目研修:3回 教員4名:ひかりのくに幼児教育夏季大学研修:1回 教員3名:「幼児のことは遊び会」研修:1回					
<p>●教育目標・学校評価</p>	<p>B</p>	<p>・幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高めている。 ・学校評価ガイドラインに基づき自己評価及び学校関係者評価を実施し、運営改善を図るとともに、その結果を広く公表した。また、学校関係者評価において、意見のあった内容を園において吟味し、必要な対応を行っている。</p>				

平成28年度 島田幼稚園 自己評価報告書

●情報公開	B	<p>・近隣の幼稚園・保育園等と比較が可能なように次の内容を情報開示し、事実を適切に分かりやすく伝えることに努めている。</p> <p>①開園時間、②学費、③日々の活動、④その他活動の内容・費用、⑤給食内容</p> <p>・毎月、「えんだより」及び「学年だより」、「クラスだより」を発行し、その月の園の連絡・周知事項を全員に配付している。</p> <p>・学校評価結果、地震防災対策マニュアルをホームページで開示している。</p>
●保護者・地域住民との連携	B	<p>・保護者及び地域住民との連携を目的に次の取り組みを実施している。</p> <p>①園庭開放を6月から2月末までの期間(長期休業期間除く)平日9時から12時において、園庭を一般開放している。</p> <p>②保護者参観(3回/年)、敬老参観(1回/年)を実施し、保護者等へ教育・保育指導を理解してもらうよう努めている。また、6月以降は自由参観を実施し、保護者が自由に参観できるようにしている。</p> <p>③親子遠足(1回/年)を実施し、行事の中で親子との連携を図っている。</p> <p>④毎日の園務において、連絡帳、電話、登降園時の直接の伝達を密に行い、園児が毎日、「安全」に「安心」して、登園できるように努めている。</p> <p>⑤個人懇談会(2回/年)を通じて、保護者へ園児の状況報告と意見交換を行っている。</p> <p>⑥年長組が年2回、近隣の老人福祉施設と交流会を実施している。</p>
●子育て支援	B	<p>・2歳児教室として、わんぱくランド・きっずくらぶを実施し、未就園児の子どもと保護者の教育を考え合わせた適切な運営を行っている。</p> <p>①きっずくらぶ:週1回、年間25回を午前10時から11時15分で実施をしている。</p> <p>②わんぱくランド:在園児・卒園児の弟妹を対象とする子育て支援として、年間15回午前10時から11時15分で実施をしている。</p>
●預かり保育	B	<p>・通常保育日において、保育時間終了後(14時)から17時まで預かり保育を実施している。</p> <p>・長期休暇期間(夏休み)に20日間(7時間/1日)実施をし、保護者のニーズへの対応をしている。</p>
●教育環境整備	C	<p>・保護者や地域の要望を取り入れ、毎年、バスの路線の見直しをしている。</p> <p>・保育室を利用し、「課外活動(①ピアノ教室②英会話教室③体育教室④絵画教室)」を実施している。</p> <p>・老朽化に伴う園児椅子を順次更新し、平成28年度で全クラスが完了した。</p> <p>・平成28年度第1回学校関係者評価においての要望(雨天時に遊戯室からこぐま組に上がる階段が、滑りやすい状況改善)の対応を行った。</p> <p>・保護者の方からの要望事項(滑り台の再塗装)の対応を行った。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>各項目及び総合的な評価結果は、「B」評価になり、幼稚園としての役割は、果たしているという評価になった。特に「教育課程・指導」は、40年を越える教育の歴史と積み上げにより、園児、保護者等から求められている教育と保育が提供できている。</p> <p>また、「情報公開」においてもホームページや自由参観を通じて、園の情報を広く発信することができている結果であった。</p> <p>しかし、「教育環境整備」の項目においては、施設設備の老朽化に伴い、改善をする必要があるという結果となった。</p>

◎「3」、「4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

平成28年度 島田幼稚園 自己評価報告書

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
<p>●学校評価、情報公開 学校教育法の幼稚園における学校評価ガイドラインに基づき、自己評価及び学校関係者評価を実施し、その結果を広く保護者等に公表していくことを継続し、幼稚園の運営改善を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の実施 ・学校関係者評価の実施 ・中間評価の実施 <p>上記内容の実施からPDCAサイクルを繰り返すことにより、園務を継続的に改善する。</p>
<p>●安全管理、情報公開 各種マニュアル(①消防計画、②学校安全計画、③大規模地震対策マニュアル、④危機管理マニュアル)の見直しおよび整備を行ったが、教職員、保護者への浸透には至っていないため、緊急時に対応がとれるよう周知、訓練等の実施が必要とされている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルの教職員への周知・説明を実施 ・各種マニュアルの保護者等、外部への公開 ・マニュアルに沿った訓練の実施 <p>上記内容の実施から緊急時の備えるとともに、反省点等からマニュアルの改善を定期的実施する。</p>
<p>●組織運営 前年に引き続き、園を取り巻く環境は、厳しい社会経済情勢の中で、共働き世帯が半数を超え、仕事やその他の活動と子育ての両立が主流になってきている。 政府も待機児童の解消を図るため、平成27年4月より「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、本園も対応が求められている。</p>	<p>幼稚園経営を取り巻く環境変化について各種研修や太白区園長会等を通じて、政府、近隣園の動向等の情報収集を行い、今後の方向性を検討し、「子ども・子育て支援新制度」の「施設型給付を受ける幼稚園」への移行に伴う課題に取り組む。</p>
<p>●組織運営 社会では政府による「働き方改革」が進められており、業務の見直しが必要とされる時代になっている。教員が子ども達を見る時間を十分確保し、いつも体調万全で接するためにも、今後の事務作業の見直しが必要とされている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直し ・業務の改善(システム化) ・業務分担の変更 <p>上記内容を実施していくことにより、教員が子ども達を見る時間を十分確保できるようにするとともに、職場の環境改善を図っていく。</p>
<p>●教育課程・指導 社会がめまぐるしく変化する中で、主体的に生きていく力を子どもたちに育む必要性がこれまで以上に高まってきたことにより、平成30年度からの施行が予定されている幼稚園教育要領への対応が求められている。</p>	<p>幼稚園教育要領の改訂を踏まえ「教育課程」、「指導計画」の検討・準備を行い、反映と実践に繋げていく。</p>
<p>●情報公開 自己評価において、教職員からも一定の評価がされているものの、ホームページの見やすさという面で課題がある。近年、スマートフォンでの検索が主流になっているため、対応が必要になっている。</p>	<p>現在のホームページをスマートフォンサイトに対応したシステムの構築をするとともに分かりやすく情報提供をしていく。</p>